

保護者・区民からの
教科用図書に関する意見

令和6年(2024年)7月16日

意見聴取の方法

教科書展示会場（鷺宮区民活動センター、南部すこやか福祉センター、教育センター分室）に意見用紙・意見箱を備え、実施

意見総数：61件

内訳：	法定・特別展示	21件
	巡回展示	40件

令和6年度保護者・区民等意見集計表（法定・特別教科書展示会 期間：6月4日～6月27日）

日付	年代	1. 教科書をお読みになってのご意見・ご感想をご記入ください。	2. 中野区の子どもたちにとって、どのような教科書がよいでしょうか。	3. その他
6月5日	20代	どの出版社もカリキュラムに沿った単元で構成されていながらも、コラムや注釈等で個性があり、どの教科書にもカリキュラム以上の学びがあるかと思えます。 また、自分が学生だった頃とは、比べものにならない学習量と高い質だと思いました。	身近だと感じるものから人は学びを得ると思うので、教科書には子どもの関心があるテーマに沿った内容があると頭に入ってきやすいと感じました。	現在の中学生が何を学んでいるかに大変関心がありましたので、このような機会を設けていただき、大変ありがたく思います。教育関連のコンテンツに役立てていけたらと思います。
6月6日	30代	社会科の教科書を見ました。各社、特徴があり、関心しました。	中学生の息子は、社会が少し苦手です。少しでも親近感の湧く教科書を使用してほしいのですが、特に教育出版の公民は導入が実験できるもの（楽唱コンクールのこと）などになっており、とても面白い作りでした。来年中学校3年生なので、こういう教科書なら、政治や選挙に興味をも持ちそうです。	
6月6日	60代	国語の教科書を見て比べた感想です。4つの会社の中で、最初に光村図書と教育出版を見ましたが、思考の地図・言葉の地図の巻頭折込は、教育出版が見やすく、身につけたい言葉の力がよくわかりました。 4つの会社の色覚の生徒への配慮なども見比べると、配慮がないと思われるのが東京書籍と三省堂の2つの会社でした。	国語は、縦書きの文章を読む教科書と覚えています。光村図書の学びへの扉は各教科毎に出てくるが、全て横書きが混在し、とまどうと思います。 東京書籍及び三省堂は以前と変わらず、オーソドックスかなと思います。 教育出版の教科の初めに載せている学びナビは、今の生徒にとっては、読んだり話したりする視点が明確で、ヒントも効果的と思いました。	私の孫が中学生になったときには、色のきれいな教科書でとてももうらやましいと思います。言葉の使い方などを養っていくには、色のきれいさと併せて文章を読むための学習のヒントがこれからは必要と思い、教育出版が中野区では適していると思います。
6月7日	60代	大学で教鞭をとっています。 地理 帝国書院 歴史 教育出版社 公民 教育出版社が、良いと感じました。	左に同じ。	
6月7日	40代	どの教科書も工夫が見られて、見やすいものになっていると感じました。	国語の教科書を見比べてみました。 東京書籍は、教材に入る前の手引きがあっさりしすぎています。手引きは2次元コードを使い丁寧に示されています。 三省堂は、目標と学びの道しるべが対応して見やすいです。 教育出版は、学びナビで目標が丁寧に示され、みちしるべでは割とあっさりしています。 光村図書は、目標と学びへの扉、学びのカギと丁寧ですが、横と縦が混在して読みにくいです。個人的には、三省堂や教育出版のものが良いと感じました。 この2者で比べると、どちらを重視するか、前後の対応がすっきりして見やすい三省堂と前に重点を置き、見通しをもって学習にのぞむ教育出版。あとは、中野区の子どもや学習指導要領に照らし合わせて、決めてもらえれば良いと思います。	
6月7日	20代	歴史の教科書を拝見しました。章の導入のページは、日本文教出版と教育出版が良かったです。本物の史料で、前の時代とこれから学ぶ時代を比較できます。イラストではないところが良いと思いました。	色弱の親戚がいることもあり、カラーユニバーサルに配慮したものが良いです。CUP0の認可があるものは快適に使えるそうです。	
6月12日	60代	自分が子どもだった頃に比べて、カラーページや写真も多く、楽しく学べる教科書が多いと思いました。 新しい歴史的事実の発見もあり、教科書のスタイルも変化していると思いました。	ロシア・ウクライナの戦争やガザでの戦いを止めるためにもぜひ、平和教育に力を入れて欲しい。 戦争への深い反省と他者を正しく理解し、思いやることを学ぶことの出来る教科書が良いと思います。	令和書籍の「国史」は副読本としても利用出来ないと思います。なぜ、教科書選定場に並べられているのか不思議。
6月13日	30代	どの会社もとてもきれいで、読みやすものが多かった。文字量が多いものもあったが、もう少しゆとりがあると見やすいと思った。	SDG'sが叫ばれている中で、社会や理科だけかと思ったら、様々な教科で使われていました。中でも、国語で大きく取り上げられている光村出版と教育出版には驚きました。ページを見ると、2次元コードも多く付いていて、教育出版の方がより子どもも興味をもって使えるのではないかと感じました。	展示会の時間が短かったので、あまり見れなかった。もう少し長くしてもらえると、ゆっくり見ることが出来て良いと思います。
6月13日	70代	道徳の教科書を見ましたが、そもそも道徳が教科であることに違和感を覚え、私が中学生なら、うけたくない授業だというのが感想です。執筆者を見たとき、小学校・中学校の先生が多いところ、少ないところがありましたが、現場で使っている先生方が入っていることが大事だと思います。 技術の教科書を読み、私も中学生の時に、こんなことが学びたいと思いました。	道徳について、日本教科書は執筆者に現場の人が少なく、また産業界でどのような人が分からない人がおり、不安です。日本文教出版は、ノートがついており、「大きなお世話」感があり、私なら使いたくないです、子どもたちにも負担と思われるます。	家庭分野について、開隆堂は家族の多様性（P26）が書かれていて良いと思います。P27に絵本がありますが、現在は様々な家族の形の絵本が出版されています。他の教科書に紹介がないのは片手落ち。選択的夫婦別姓についての記述がどれにも見られないのが残念です。将来一人暮らしだと、「家庭」とは言わないでしょう。 それでも、地域とはかかわったり、消費生活をし、食べる訳だから、この分野の「家庭」という名称を見直した方が良いと思います。
6月14日	50代	教科書も新しくなり良かったです。	令和書籍の国史教科書が良いと思います。くわしく難しいかもしれないが教科書としては良いと思います。難しくても全部理解しなくても勉強ですから良いと思います。	

日付	年代	1. 教科書をお読みになってのご意見・ご感想をご記入ください。	2. 中野区の子どもたちにとって、どのような教科書がよいでしょうか。	3. その他
6月15日	70代	今日は日本史の教科書を見てみました。いくつかの教科書は権力側の視点（いわゆる上から目線）が強すぎて読むに耐えないものでした。（ひどい順に令和<育鵬<自由<日本文教）他の4冊はそれぞれに特色がありますが、沖縄とアイヌについて良い解説のある学び舎と帝国書院が印象に残りました。	歴史教科書としては民衆の躍動する教科書が良いと思います。具体的には上述の「学び舎」か「帝国書院」を推します。	令和書籍の「国史」は天皇中心史観にすぎます。よくこれで検定を通過したものだと思います。
6月16日	50代	教科によって選択肢に差があるのが興味深かったです。	不偏	
6月19日	60代	次代を担う子供たちは歴史認識がとりわけ大事だと思いますので、歴史教科書を読み比べてみました。	とても良い歴史教科書だと思ったのは「学び舎」のもので。P192～193では韓国併合による「朝鮮総督府による支配」がどのようなものだったのか、とても詳しく書かれています。隣国との友好のためにも子供たちに読ませたい内容です。P238～239の「沖縄戦」の記述もよく書かれており、子供たちが深く学ぶべき内容だと思いました。	
6月20日	70代	社会（歴史的分野）、公民、家庭科、英語を見ましたが、主に社会について意見を書きます。全ての教科が豊富なカラー写真や資料が使われていると思いました。令和書籍の国史一教科書には驚きです。貫く考え方は国際社会に生きる中学生にふさわしくないと思いました。育鵬社・自由社の教科書（歴史）は「国史」よりはましと思いますが歴史を支え築いた名もない人々の働きに目がいてないと思います。憲法や労働法、教育基本法等どれもリーダーだけの力ではなく民の力が重要な役割を果たしてきたと思います。更に戦争の真実を伝えていません。憲法はGHQから一方的におしつけられたものでないことは、民間の様々な資料から明らかです。	基本は憲法にのっとった教科書だと思います。「学び舎」の教科書とともに学ぶ人間の歴史は素晴らしいと思いました。これまででない教科書作成の視点が見られます。ひとつの歴史的事実に対し、様々な角度から資料が提示され中学生の視野を広げてくれると思います。	歴史的分野の教科書に必要なのはグローバルな見方だと思います。唯一の言語、長い天皇制の歴史を誇ることではないと思います。国際感覚・人権尊重の姿勢が貫かれている教科書を選びたいと思います。
6月21日	60代	自由社の「新しい歴史教科書」の内容は下記のように素晴らしく、採択を是非お願いします。 1) 共産主義・共産主義国の実態とその必然性、及び民主主義を守る重要性への理解が進む。 この点は、ロシアによるウクライナ侵攻、中国及び北朝鮮の脅威が高まっている今日、極めて重要。 教育出版には共産主義の言葉すら登場しないのは、日本を危うくします。自由社では、共産主義の主張点があり、その実現のために強力な独裁体制が生まれる事、無理な計画経済による飢饉や貧困、国際コミンテルンの策謀、独裁政権ゆえの言論弾圧・人権侵害等、中国・ロシアの現在の問題への繋がりが学べ、民主主義を守る重要性が理解できます。（P.214、226、227、228、254、261、270、278） 2) なぜ日中戦争が始まり拡大したかが分かり、国際社会の複雑さ及び戦争を防ぐための教訓が学べる。 国際コミンテルンの遠大な構想によって中国での対外排斥運動が激化し、盧溝橋事件が引き起こされ、直ぐ停戦協定が結ばれたにもかかわらず、極めて残虐な通州事件等の停戦協定違反が続発し（中国を懲らしめるための戦争と言われた原因が分かる）、日本人居留民の安全確保から始まったが、度重なる挑発に対する軍や世論の猛反発から、展望の無いまま戦線が拡大していった一連の経過が史料を基に記述されています。「この戦争の目的は何か」という議会での質問に政府は答えられなかったという象徴的な事実も書かれています。目的と展望の無い、また感情に動かされた非理性的な展開に対する大きな教訓となります。（P.228、232～234） 3) 太平洋戦争や原爆投下の真相と多様な観点が学べ、複雑な要員の絡み合いの中での判断力が養える。 アジア諸国への侵攻は、石油等の資源確保が主眼であったとしても、白人の植民地にされていたアジア人からは日本による開放への期待があり、現実には戦争を契機に独立が進んでいった事実（P.241、248）は認識されるべきです。また原爆投下（P.250）や東京裁判（P.258）に対する多様な見方を知ることも思考力を高めます。 4) 元寇の原因と鎌倉武士の懸命な戦いが分かり、歴史の厳しさを知って、先人への敬愛心が育まれる。 日本が負けて元の一部にされた場合、高麗のように元の先兵として戦わされただろうし、また、明、清から中華人民共和国に至る中で、日本は現在見られるチベットや新疆ウイグルのような悲惨な状況に陥ったでしょう。そのような大陸からの侵略の怖さが、明治時代のロシアからの進出への警戒や防衛意識に繋がった可能性が指摘されており（P.81）、現在に至る国際社会の厳しさの理解が進みます。	歴史は様々な要素が複雑に因果関係を織りなしており、単純な割り切りは出来ず、その理解の下に、日本の進路や各国との友好・外交関係を考える力が育つ教科書。	

日付	年代	1. 教科書をお読みになってのご意見・ご感想をご記入ください。	2. 中野区の子どもたちにとって、どのような教科書がよいでしょうか。	3. その他
6月22日	70代	<p>国史教科書（令和書籍）では、日本列島の誕生を古事記と日本書紀から引用している。これは歴史認識にあやまりを生じてしまいます。最初の部分では、歴代天皇の継承図を載せていることに違和感を覚えます。採用しないでください。第二次世界大戦も大東亜戦争と書かれています。撤退→転進、全滅を玉砕などと美化した表現も気になります。</p> <p>朝鮮人などの徴用工に賃金が支払われたなど事実が違っています。育鵬社の歴史教科書も大東亜戦争と名づけています。沖縄戦では、「逃げ場を失い、集団自決に追い込まれた人々もいました」と書かれています。日本軍の行為について全くふれられていません。朝鮮人などに強制労働や慰安婦などの問題にも全くふれられていません。</p> <p>自由社版の歴史教科書も4ページも使い、古事記に書かれている神話の説明と神武天皇とのつながりを説明しています。事実と異なる神話については、子ども達が混乱するのではないかと思います。</p> <p>道徳日本教科書の「生き方から学ぶ」稲森和夫氏や森英恵など、マテラユスフザイなど著名人、中村哲なども、とても凄い人達なのだけでも、子ども達が、自分の生活とからませて、考えられるだろうか・・・?とってしまいます。</p> <p>その他の教科書も「考えよう」などの発問によって誘導されていくように感じました。</p> <p>家庭科の最初のページから持続可能な社会への構築へとSDGsの17の課題にふれています。「誰ひとり取り残さない」という国連憲章にもふれています。貧困、紛争、気候変動、感染症などの課題も意識し、気候危機を乗り越えるための対策、自然を守るために、自分達ができることを考えさせている。家族の多様性にもふれている。女性差別撤廃条約や子どもの権利条約も紹介し、自治体のサポート体制も紹介していることに感動しました。ヤングケラーの声の紹介もありました。家庭科が単に衣、食、住、保育を学ぶだけでなくに驚いています。未来を見ずえた生き方、エンカル消費について考えること、カーボンニュートラルについて考えることなど、再生可能エネルギーなどすぐ発展していると感じました。</p> <p>技術も同様に、SDGsの視点で生活に役立ち、持続可能な社会をめざして構成されています。</p> <p>公民自由社は日本国憲法について、マッカーサーが拒否して、新憲法案を英文で作成し、押しつけてきたと書いている。しかも、事前検閲が厳しくて、国民には知らされなかったという書き方は問題だと思います。そして、憲法改正の論点を詳しく述べているが、一方的な意見だと思います。9条の解釈をめぐる、いろいろと説明しているが、結論は自衛隊は法制上は軍隊ではないという言い方をしています。これはよくないです。</p>		
6月25日	60代	<p>とてもカラフルな教科書に驚きました。新しい本を手にしたときのワクワク感がよみがえってきました。（私の世代とは隔世の感がありますが）。今の中学生は何を感じて学ぶのでしょうか。彼らの声を聞いてみたいとなりました。</p>	<p>歴史教科書を中心に読ませていただきました。史実を正しく伝えることは教育の原点と思いますが、それに加えて彼らに考える時間を与えることです。材料は提供して彼らの意見を聞き、それに応答する会話があるでしょうか。教科書は材料であるべきと思いました。</p>	<p>歴史の教科書はどれも似たりでした。一方で数学と美術の教科書は個性であふれていました。選ぶのに先生も頭を悩ますことでしょうか。保健体育には性教育を総合する教科書はないですね。今後の進展を期待します。</p>
6月25日	70代	<p>何冊かの社会科の教科書を見比べてみました。育鵬社の記述、とくに戦中戦後には納得できないものがありました。従軍慰安婦は見あたらず日本の第二次大戦の姿勢が見えません。</p>	<p>東京書籍 教育出版</p>	
6月26日	50代	<p>アジア太平洋戦争について自存自衛のための戦争であったと肯定的に描いている歴史の教科書（自由社、育鵬社、令和書籍）には、疑問と問題を感じました。日本が先の戦争でアジアの国と人々にどれだけひどいことをしたか、侵略と占領、収奪の事実がほとんど書かれておらず、当時の為改者のまなざしで記述していました。</p> <p>それに対して学び舎の教科書は市民の視点に書かれ、ひとりひとり生活との関わりで戦争を伝えていて好感をもちました。</p>	<p>先の戦争で日本は何をしたのか、アジアに対する侵略、そして国民の命を軽んじ、犠牲を強いたこと、その誤りを歴史的事実にもとづいて、きちんと伝える歴史の教科書を子どもたちに手渡してください。展示されていた中では学び舎のものが圧倒的に充実していたと思います。</p>	<p>中野区は憲法擁護・非核宣言都市宣言をしている町です。「憲法をくらしに生かす」ことを区庁舎でも掲げています。どうかその精神を教育にも貫いてほしいです。乱文乱筆で失礼しました。</p>
6月26日	50代	<p>歴史教科書の中で令和書籍読みましたが、学ぶ学生たちに客観的、正しい歴史観持たせることができない内容だと思います。また、アジアに対する侵略の歴史に対し真実があまり書かれていないと思います。採択すべきではないと思います。その反面学び舎社の歴史教科書は内容が事実に、詳しいので歴史教科書としてはいいと思います。</p>		
6月27日	20代	<p>教科書表紙が子どもたちが好むような今どきのイラストになっていて驚いた。</p>	<p>中野区の地域性や中野区の子どもたちの課題にあった学びができる教科書が必要だと思います。</p>	<p>教員志望です。来月の東京都教員採用試験を受験します。教科書展示会の仕組み学ぶため来室しました。</p>

令和6年度保護者・区民等意見集計表（巡回教科書展示会 期間6月3日～6月28日）

日付	年代	1. 教科書をお読みになってご意見・ご感想をご記入ください。	2. 中野区の子どもたちにとって、どのような教科書がよいでしょうか。	3. その他
6月3日	20代	保健体育は、大修館の43ページでは性的マイノリティについて生徒が想像しやすい形で示されていてよかったです。知識だけでなく実際のコミュニケーションに生徒自身が応用できるとよいです。技術は、東京書籍のガイダンスがシュアサイクルなど身近な例を取り上げていてよかったです。また、カッターナイフは板チョコから発想したことなど、これから必要な創造性を育てるためには面白い要素だと思います。	美術は、説明的過ぎてしまうと興味がない子どもたちにとっては入りづらい教科だと思います。日本文教出版の教科書は比較的すっきりとテーマごと見開きでまとまっていて、それぞれの作品に先入観なく自由に見て感じられる余白があるように感じました。	
6月3日	60代			区内の小中学校で使用している教科書を図書館で貸し出しを希望したところ、各教科1冊のみの貸し出しで順番待ちが長いので、図書館での貸し出し数を増やしてください。
6月3日	50代	令和書籍「国史」は、歴史学上の史実ではなく神話とされている神武帝等のことを史実であるかのように書いており、不適切であると思われる。	「国史」以外。	
6月4日	60代	令和書籍の「国史」を読みました。日本列島の誕生が神話に基づいて語られていること、歴代天皇の皇位継承図細かく記載されていること、縦書きの記述。様々なところに強い違和感を覚えました。特に神武天皇からはじまる長い継承図は、戦前の教育刺語を連想させ、恐ろしささえ感じます。なぜこの者の物が検定を通ったのか疑問です。	歴史には諸説あることは承知していますが、政府の認めるものを絶対に正しいとするのではなく、様々な角度からいろいろな見方があることを含めて正しい認識を子どもたちが持てるように望みます。道徳を教科として扱うのは疑問です。心はよい悪いで判断できるものではないです。正解に導くような指導、決めつけるような教材であってほしくないです。	
6月4日	30代	自分が子どもの頃と変わった部分を探すのが楽しかったです。英語は小学校から（3年生？）やって（勉強して）くると思うのですが、小学校終了時点でのレベルによって、簡単すぎたり、難しすぎたりしそうでなと感じました。	中野区に限らずですが、色彩やかで見ているワクワクするような教科書が良いと思います。特に資料などは写真が目を引きものであってこそ、覚えやすくなると思います。先生方が教えやすい教科書ではなく、子ども目線で、理解力を深めやすい工夫がされている教科書を採用してほしいです。	今年生まれた乳児を連れて見学に来ました。一般公開は本当にありがたいです。子どもたちが、素敵な教育環境に恵まれますよう、祈っております。
6月4日	60代	道徳の教科書を読みました。バラエティに富んだ雑誌をみるようです。。なにが生徒にのこののでしょうか。		
6月4日	50代	自分の時代と教科書の大きさやカラー印刷が入っていてずいぶん変わったと思いました。	成長期にあわせた豊かな情緒、考え方が出来る内容であればいいのかなと思います。	
6月5日	30代	各者工夫をこらしている内容で良いです。	小学生から中学生になり、英語への苦手意識をできる限り少なくし、楽しめる教材が良いです。	
6月5日	60代			地域にてこのような機会を作っていただけるのはとても素晴らしいことと思います。ぜひ今後も継続していただきたいです。
6月5日	70代	僕らの頃の教科書と比べると、非常にカラフルになって見ているだけで楽しいです。自分でも欲しくなっています。	僕にはそんな判断は難しいが、どんな教科書であっても先生がしっかりと教えれば良いと思います。	
6月6日	60代	道徳の教科書いづれも「なぜ、そう思うのですか？」という対話の大事さやトレーニングが入っていないです。ここが近代の基礎なので入れないと思います。公民に憲法から「個人」を取り除く、日本会議系の育鵬社や自由社も入っていることに驚きました。とんでもないと思います。	北欧のように「何になら興味ある？」「君、ここが面白いネ」「なぜそう思うの？」と個人の動機(困りごとを含む)から社会を対話で創る訓練が大事(特に道徳、家庭科、公民で)。先生のプリント等自由な教育を認め、教育委員会による人事面含めた「クウキの押し付け」を止めて欲しい。	
6月7日	70代	学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」は写真も多く、ていねいに書かれていて良い本だと思いました。東京書籍の道徳は考える機会を与えているので良いと思います。向き合うことができます。わかりやすいです。あかつき教育図書もよかったです。日本教科書の道徳はおしつけっぽいのでよくないです。歴史では令和書籍は天皇の系図など天皇を中心とする記事が目立つので、ふさわしくありません。また、育鵬社、自由社も戦争のことについて真実でない記事があります。育鵬社の日本軍がしゅりゅう弾などを渡して「はずかしめられているからと住民を集めて皆で自決するように指示した」のに住民自身がおいつめられて自ら自決したと思われることばになっている。これは事実と違っています。県民のたくさん証言があります。自由社の沖縄戦についても簡単に書かれ、沖縄戦は住民の方がなぜ死者が多かったのか書かれていません。	歴史の真実がきちんと伝えられ、日本の歴史を正しく学べるものにして欲しいです。道徳は自分の頭で考えられる記述式のこたえを求めてほしいです。いじめのことなど自ら向きあえ考えることができるものであって欲しいです。	
6月8日	70代	令和書籍の国史は、縦書きが読みにくいです。見出しのイ・ロ・ハ・ニはなじまないです。P418国難にあたり我が身を以って国民をという記述は史実と違います。	過去の太平洋戦争について史実をゆがめないで再び民衆が苦勞することのないように子どもたちに考えさせるような教科書にしてほしいです。	
6月9日	50代	今はずいぶんカラフルではですね。	竹田恒安さんの国史が採用されてほしいです。	
記入なし	記入なし	歴史的分野で、令和、育鵬、自由社はやたらと安倍元総理を出し、令和はゼロ戦、大和も大きくのせ、かたよっているとしました。	正しい歴史の内容、道徳は自分の個性を大切にできる内容を（押しつけてないものです）。	
記入なし	記入なし	歴史教科書を見ました。	中立的な観点から書かれたものが良いと思います。重要な事件やキーワードは載せるべきです。色々な観点からの意見を紹介することも大事です。	

日付	年代	1. 教科書をお読みになってご意見・ご感想をご記入ください。	2. 中野区の子どもたちにとって、どのような教科書がよいでしょうか。	3. その他
6月10日	70代	今日は歴史だけ見ました。中学生の歴史としてどの教科書もずい分詳しいと感じます。一冊異様に厚いたて書のものには神話世界の天皇からつきおし歴史教科書ではないと感じました。	日本国憲法3原則のもとで、自由に考え意見を表明し行動できる人間を育てていくために歴史を学ぶことは重要です。育鵬社、自由社の教科書の記述は現憲法がアメリカの言うなりに作られたことさらに強調し、現憲法の3原則に対する重みを感じられません。(とくに自由社) アジア太平洋戦争に対する記述も侵略戦争であったことの指摘が不十分です。学び舎はパンデミック最新のウクライナ情勢にもふれている一方、育・自は安倍首相の死やオリンピックなどどうでもよいことを記述していると感じました。	学び舎のP10、P54、P86などの地図は面白いと思います。また、各社がわざわざ日本の領土について頁をさいているのに対して、学び舎は小さくふれられている程度で妥当です。1時間半以上でしたが、2次元コードについては十分見切ることができませんでした。NHKの動画にとんだりするのもあったが、教科書のページの一覧とかが出てくるのもあり、何で必要なか不明でした。4択のクイズなどというのもあって「TVのクイズ番組じゃないでしょ」とつっこみたくもなりました。
6月12日	70代	どの教科書も内容が盛り沢山のような気がして、また文字の大きさも小さいようでずいぶん変わったなあと感じました。中学生大変ですね。	特に歴史は事実をありのままに子どもたちに伝え、これからどうい生活方をすればよいのか考えさせてほしいです。世界のどの国も反省すべき点は多々あり、日本も特に近代では多くの過ちを犯しました。その点では東京書籍や教育出版がよいのかなと思います。日本を正当化してばかりの教科書は絶対選んでほしくありません。	時間が足りずしっかり内容を見ることができませんでしたので、また他の会場で見比べようかと思っています。
6月12日	70代	歴史の教科書：令和書籍「日本国史」のはびっくりしました。こういうものがあえて「検定」を通るということは考え直さねばなりません。	まず、重すぎるのです。(重量)、毎日持ち運ぶことだけでも少々つらいでしょう。重いわりに国語教科書など他の社のものも内容に乏しく思えます。教材が少なく指示が多すぎます。	
6月12日	20代	教科書出版の歴史、公民、地理が1番主権者意識を育める教科書だと思いました。現在大学で教員を目指して学び、上記の視点から卒業論文に取り組んでいます。このような教科書を使って来年教壇に立てることを楽しみにしています。		
6月12日	30代	小学校の教員をしています。国語を主に研究しているので、国語の教科書を中心に見ました。学習量の多さと同時に小→中へ上がったら、レベルの高い内容で子どもたちがついていけなくなるのでは?と思いました。(学習指導要領に沿ってつくられているので仕方ないかと思いますが)	国語は光村や東京書籍を使っていますが、学習のプロセスが小と変わってなく、昔からある流れには、いささか疑問を持ちます。令和の教育は個々が単元の中で自由に進めながら学びを深めていくことが求められています。古いままの学習プロセスや教科書では中野区の子ども(私の子も)たちにはふさわしくないと感じています。	展示会の時間が分かりづらいです。せめてどこのフロアかを貼ってください。
6月12日	40代	道徳の教科書を見ました。いじめやいのちについて各社力を入れている様に見受けられました。	中野区では若者会議や中野ハイティーン会議など中高生や若者が意見を出し合う活動がされているかと思っています。息子が申し込もうと考えているのですが、教育出版の教科書の3年生に愛知県での若者会議についての文章があり、とても興味深く拝見しました。中野区でも同様の取り組みをしているので、教科書で出会っておけばさらに参加したい人が増えるのではないかと思います。	
6月14日	70代		私は中高生の学校の授業で日本は悪いことをした、他の国に謝り続けなければいけないと刷り込まれてきたように思う。その後自分でも悪いことをした日本というのが本当かと思いで本を読み続けました。	私は今の中学生には日本を誇りに思うように育てて欲しいと思います。本を選定される先生方にも子供、孫がいらっしゃるなら誇れる日本で育てている、生きていることを伝えられる本を選んで欲しい。
6月14日	60代	進化していて素晴らしいです。	基本的マナーをもった差別のない子供に育ててほしい。スマホにたよりすぎない子供、落語や芸人や古典芸人に興味があり、その能力を地元でいかせる子(いきやすいやしゃれ)	
6月17日	70代	令和国史×厚すぎ 天皇中心 育鵬社 ×人物中心の説明	事実を伝えるもの、偏見を与えないもの、政治色のないもの、自由な発想の出来るもの、価値観の押しつけでないもの、健全な心をはぐくむものであってほしいです。	道徳の教科書は常識、礼儀、心がまえを教えるものだと思うので、個人差や価値観をどのようにつらえるかを教えるのはむずかしいのですが、偏見をもたないことを教えるのは大事かと思っています。
6月19日	70代	失礼ながら歴史教科書「国史」はなぜ教科書と認められたのか不明です。一般の読み物として考えれば興味ある人には読んでもらえるでしょうが、この教科書では歴史に対する関心がもてないのではないのでしょうか。	学びが深まる教科書を使って学習することが必要。特に歴史の教科書では、なぜそのような事が考えるためのデータ(グラフやその時代の様子が分かる写真)そしてそのおきた事に対して人々はどうのように感じどのように行動したのか、又させられたのか、それらを深く学びその先に友達との交流(話し合いによる意見交換等)でもっと深い学びから学び合い、育ち合いをつかみとってほしいです。一つの出来事だけではなく様々な出来事は、複合的に起きていることもデータ等で読み取る力を育てたいです。	
6月20日	記入なし	私達の時代とあまりにも違いすぎて、まずびっくりしました。今の子ども達はたくさん覚えなければならぬのか?とかわいそうにも思います。	歴史の本では、戦争を美化するような教科書は使わないでほしいです。	まず、教えられる先生が、使いやすい、教えやすい本を選んでほしいです。生徒も分かりやすい物が良いと思います。
6月20日	40代	教員の使いやすさを重視して教科書を選ぶのではなく、教育委員が子供のために有益な教科書がどれであるか直接目を通して採択してほしいです。	興味関心、視野を広げる助けになるもの。	

日付	年代	1. 教科書をお読みになってご意見・ご感想をご記入ください。	2. 中野区の子どもたちにとって、どのような教科書がよいでしょうか。	3. その他
6月22日	70代	中学生の教科書がどんなものか興味があり展示会に来ました。膨大な量で全てを見ることはできませんでしたが、しかし、令和書籍の国史教科書には驚きました。なぜ、今、縦書きなのか？子ども達は小学生から横書き（国語はの除く）慣れているのに。その体裁に驚き、内容も天皇の継図とよく分かりません。この教科書が中野の子ども達には使わせたくないと思いました。子ども達には、歴史は研究の結果が反映されたものにしてほしいです。	子ども達の学習意欲が出てくるもの。子ども達の生きる力・考える力・表現力・より良い生き方ができる力を育むもの。生徒が学びやすく、教師が教えやすい、扱いやすい教科書。そのためには、現場の意見をよく聞いてほしいと思います。	
6月23日	60代	歴史教科書は、自由社が最も良いと思います。出来事の原因やつながりが分かる生き生きとした記述は魅力的であり、また現在に有用な示唆が得られます。例えば、日中戦争が共産主義者の策謀が原因で始まり、挑発を受けて拡大していった経緯についての、史料を基にした記述からは、事態を冷静に見きわめる事の重要性が分かります。	平和は祈りだけでなく、現実を踏まえて理性的に考え行動することによって得られます。そのことが理解できる教科書。	
6月24日	50代	日本文教の美術は3分冊3学年分あり、各学年の成長を見通した年間計画が立てやすいと思いました。		
6月25日	50代	自分が子どもの頃使用していたものと比べると内容も多岐にわたり図や写真なども豊富で見ているだけで楽しいです。主要科目以外の教科書（音楽、美術、技術家庭、保健）もいろいろ工夫されていると思いました。	どの教科書もそれぞれ良い面があると思いますのであとは先生方の教え方次第だと思います。	
6月26日	記入なし	・家庭分野 料理や裁縫などスキル重視なら「東京書籍」生徒にいろいろ考えてもらう分野なら「開隆堂」特にP16～P87はとてもよいです。 ・保健体育分野「学研」全体としてページが白く光って目に悪い。「東京書籍」見やすく資料が充実している。おすすめ。他の2者は可もなく不可もなく。 ・公民 「日本文教出版」総合的に考えてNO.1「東京書籍」NO.2 ・歴史 「令和書籍」文章ばかりで教科書とは言えない。「学び舎」教科書いうより読み物「山川」くわしすぎる 「東京書籍」総合的に考えてNO.1（オーソドックス） 「教育出版」NO.2	年度が終わるまでではなく、その後もずっと参照できる資料価値のある教科書。	
6月27日	70代	道徳の教科書で人権、差別、アンコンシャスバイアスなどを取り扱うようになったのはよいことです。これらのことをきちんと記述している教科書を選定して下さい。	育鵬社の憲法改正の説明は「改正すべき」との方向へ導く記述になっています。他にもこのように教科書がありますが、どちらかに片寄った意見の教科書は選定しないでほしいです。	
6月27日	60代	歴史と公民の教科書では、国家の認識がおかしいものが数者ある。万世一系の天皇をいただく連続した国家である。とか、日本憲法はおしつけであるとかいうのがそれである。このような教科書が検定を通過してしまうのは大変に残念です。	1に書いたように育鵬社、自由社の歴史・公民の教科書は採択すべきではない。もちろん、教科書のていをはなしていない令和書籍は『国史』とやらも採択すべきではないです。	左で採択すべきではないと述べた教科書がもし中野区で採択されるようなことがあるなら、これは中野区民としてとても恥ずかしい事態であると思います。
6月27日	40代	道徳について事実をもとにした資料が多いものがよいです。東京書籍について様々な資料、学び方（P4C、役割演技等）についても触れられているのがよいです。	公民 帝国書院が章末で入れているアクティブ公民は能動的に考えるための活動としてあるとよいです。教育出版が章末で入れているコラムの内容が現代課題、情報をとりいれていてよいです。	今採択している教科書は何なのか（区の考えがわかる）表示してあると比較しやすいです。名前記入は必須なのですかとらっしゃる方に聞いてもわからないとのこと。分かるとうよいです。
6月28日	40代	英語教科書光村図書のHERE WE GO!が大変印象的でした。アルファベットより先に目の前の人の事を知ろう！まず英語に触ってみて！どう意図がわかりやすく登場するキャラクターが生きていてこの友人たちが何を思っているんだろう、どんな物語なんだろうというワクワクで読みすすめていました。その中でQ&Aやアウトプットやってみただけむずかしい。ポイントを巻末のガイドでフォローしてその流れもすばらしかったです。		
6月28日	60代	子どもたちに手渡せない！と思える教科書があります。戦争の真実を伝えていません。太平洋戦争に副題をつけている「大東亜戦争」「自存自衛の戦争」「アジアを解放するための戦争」と説明しています。アジアの人の抵抗があったことや私の親世代など民衆の生活、苦難をとりあげていないことや沖縄戦で「逃げ場を失い集団自決に追い込まれた」などどぎせいにされた人の責任のような書き方になっています。令和書籍の「国史」神話から始まり沖縄戦、慰安婦問題の真実を伝えていません。自由社・育鵬社の歴史・公民は使ってほしくありません。	特に歴史、公民の教科書は真実を伝え、平和を学べる教科書でなければならないと思う。2次元コードを読み取るデジタル教材が大幅に増えているとも聞きます。※文部省自身が“問題のあるコンテンツが子どもの目に触れるようになる可能性もあり得る”と認めている。結果、先生たちがリンク先を調べそこを深めるためにどういう勉強をさせたらいいかと事前の授業準備に時間がかかり負担が大きくなるのではないかな？子どもたちと一緒に考えたり調べたりを主体的に「学ぶ」事の大事さ楽しさが伝わってくる教科書であってほしい。	性の多様性、家族のあり方についての記述は身体の性以外にも心の性、好きになる性、社会的な性などいろいろなものさしがあると発展ページに書かれています。授業の中でも積極的に扱ってほしいと思います。家族のあり方は現実で起こっている重要な課題でもあると思うのです。疑問や「あれはどうだったかなあ」と思った時になんでも見る、読みかせる紙の教科書大事だと思います。実践している教職員・保護者・そして子どもたちの意見をくみとり尊重してほしいと願います。「人間を育てる」ための教科書・教育であってほしいです。
記入なし	60代	持続可能な社会（SDGS）などが反映されている教科書があり、子ども達とともに大人も実践していけるとよいと思えました。	事実や史実に忠実な教科書。様々な見方はあってもよいが、事実と異なる通説のみを載せることはあってはならないです。（例）日本憲法はGHQに押しつけられたものなど	教科書検定はどのような基準で行われているのかわかるようになるとうよいです。
記入なし	記入なし	道徳の教科書を見ました。どの出版社もデザインの工夫をされており、子どもたちが読みやすくなる様考えているのが伝わってきました。	東京書籍さんの「新編新しい道徳」はデザインが特に優れていて、かつ内容としても素晴らしく感じました。道徳に関する学びだけでなく、文化や防災など様々なテーマによる知識を得られる点からも選定するにふさわしいと感じました。自分にとっての「よりよく生きる」とは？を考えられるのも良いですね。	